

# 事務事業評価シート(平成25年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
21611	民生児童委員協議会事務	保健福祉課	社会福祉係	一ノ瀬 元広	有賀 誠
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先(内線)	2121
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0301	社会福祉総務事務	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	2章	支え合いとやすらぎのまちづくり	
		節 (コード選択)	1節	地域で支える思いやりのある福祉の充実	
項[基本施策] (コード選択)		6項	地域の支え合い活動への支援		
目[主な施策] (コード選択)		1目	地域福祉団体活動の推進		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input checked="" type="checkbox"/> その他	第5次総合計画			
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

民生児童委員は常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助が受けられるようにする  
民生児童委員協議会事務は、民生児童委員の活動に際して、必要な助言や県福祉事務所・福祉関係施設との連絡調整を行う  
地域での生活を安心して住みやすいものにする

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- 民生児童委員は要支援家庭を定期的に訪問し安否の確認、福祉サービスの情報提供及び連絡・調整を行う
- 町内新聞店と高齢者安否確認協力事業の契約を締結
- 民生児童委員会独自で、テーマを設けた研修や福祉施設・障害者施設の見学を実施
- 行政機関の委員会に参画し、行政への情報提供を行う(まちづくり委員会・男女共同参画委員会・保健福祉推進委員会等)

## (3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	延べ活動日数	日	8,097	7,217	10,000	0.72	10,000
	説明	民生児童委員の年間活動日数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	国が定める福祉行政報告に基づく				
②	指標名							0
	説明		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

## (4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	要援護者見守り件数	件	487	501	756	0.66	756
	説明	民生児童委員で把握している要援護者(独居老人)世帯数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	民生児童委員で把握している要援護者台帳に基づく				
②	指標名							0
	説明		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

## (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度見込み					
		8,474	9,445	10,952	13,616				
対前年比 %		111.5	115.9	124.3					
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	3,584	3,584	3,584	3,584					
B) 一般財源(税金)	4,890	5,861	7,368	10,032					
①事業費 (千円)	4,700	5,633	6,904	9,219					
対前年比 %		119.9	122.6	133.5					
②人件費の概算 (千円)	3,774	3,812	4,048	4,397					
対前年比 %		101	106.2	108.6					
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26				
町職員(正規職員)	0.12 0.08 0.08	0.29 0.33 0.37	0.00 0.00 0.00	0.04 0.04 0.04	0.45 0.45 0.49	3,774	3,812	4,048	4,397
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)					0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 要介護者台帳の住民には月1回以上訪問健康状態等を確認し担当課と連絡調整を行っている
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください 実施活動については概ね期待したとおりであるが、個人保護の観点から要介護者世帯の情報を得るのが困難
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 県連合会・郡民生児童委員協議会と情報を交換している。庁内の委員会構成委員に参画し、民生児童委員への情報伝達を図っている
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 老人クラブ・社会福祉協議会・町内新聞販売店と連携を図っている

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
民生児童委員会として、講習会・研修会・施設見学を年度事業として実施し見識を深める。年度事業として定期的に地区単位(5ブロック)の民生児童委員間で情報交換会を開催する。障害者部会・高齢者部会・児童福祉部会を設け、年度事業を企画・実施する。要介護者の見守りを定期的に行う。	[反映内容] 県交付金実績を反映

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

A	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	役員会・地区会議等で話し合いを行い、地域住民の福祉向上に向けた取り組みについて検討し実施していく。

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
見守り世帯が増加し要望内容も多岐にわたり、また、特殊詐欺防止など高齢者を取り巻く環境も厳しく、民生児童委員の活動内容は年々増えている。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

上記 a~e を選択